

日本における世帯属性別物価指数 (2019-2025)

—ラスパイレス固定基準方式による推計—

松岡孝恭

2026年4月27日

概要

総務省統計局の「2019年全国家計構造調査」と「2020年基準消費者物価指数」のデータを共通の中分類品目で照合し、様々な世帯属性の組み合わせで決まる物価指数を計測した。世帯主の年齢階級別では、既存研究で報告されているように、世帯主の年齢が高くなるほど世帯が直面する物価が高くなる傾向を確認した。年齢階級別の組で分析できる他の属性を考慮に入れても、この年齢階級の傾向的变化は頑健である。年収階級五分位階級別では、既存研究と同様、年収の低い階級（第1と第2五分位）において相対的に物価が高くなることを確認した。しかし、年収と年齢の組合せで分析すると、単独の分析において物価高の影響を受けやすいと判断される年収の低い階級に世帯主の年齢の高い世帯が集中していることが明らかになった。世帯属性別指数の年収階級間の違いは、各年収階級を構成する集団の世帯主の年齢構成が変わることによる見せかけの違いである可能性が高い。